

花びと通信

花と緑のあふれるまちづくり

No.45 2026年3月31日

花びと会ちば

【令和7年度 市民公開講座】

- ◆ 日 時：2026年3月1日 13:30～15:00
- ◆ 場 所：千葉市役所1階正庁
- ◆ テーマ：自然と共に生きる～生活の中でやさいを楽しむ～
- ◆ 講 師：大竹正枝さん（農学博士・自然栽培の会講師）
- ◆ 参加者：94名



春の公開講座の講師の大竹先生は、園芸療法のほか、食事バランスと疾病に関する研究などの研究にこれまで従事し、現在では茨城県笠間市で「自然栽培の会」の講師をされています。また、千葉市内にある約一反の畑を自然栽培で野菜を育てています。その実践的なお話に、少しむずかしくも引き込まれました。

大竹先生が提唱するのは、永続的に利用できる土壌で作物を育てる再生型農業（農法）。その一つの農法として「自然栽培」が注目されていると言います。

自然栽培で育つ野菜たちには、次のような特徴があげられるようだ。

- ① 野菜本来の味がする。つまり、甘いものは甘く、苦いものは苦く、辛いものは辛い野菜。
- ② えぐみや雑味が少ないので、体にやさしい野菜。
- ③ 病害虫に強いこと。

そんな野菜を育てたい、食べたいと思った人に、「自然栽培」はおすすめの栽培方法となる。つまるところ化学肥料や有機肥料などのやりすぎは良くない事であるらしい。肥料をあげなくとも 根と土壌微生物との間に自然な共生関係が生まれ、その相乗効果が野菜を育てるという。とは言っても ほったらかしではなく、それなりの手間と知識が必要となる。

① 畝をたてる。②土壌微生物がすみやすい環境にするのが最も大切で、草マルチをする。緑肥植物を利用して、土をむき出し（裸地）にしない。③最終的に生物多様性の畑を目指す。

～野菜を楽しむ～



お話の後半では「トマト、ナスなど、とにかく自分で野菜を育ててみましょう」と野菜作りの楽しみ方を紹介されました。

家庭菜園の超初心者には、「袋栽培」が最適とのこと。培養土の袋をそのまま利用す

るのでプランターが不要。ベランダでもOKの手軽さがうれしい。

市民農園は、農業を身近に体験でき、仲間と楽しめるのが良いと。大竹先生は千葉市近郊で、市民農園「自然栽培の会」開催の準備・検討をしているそうです。上級者向けのクラインガルテン（滞在型市民農園）は、全国各地で人気上昇中だそうです。

今回は、お子様を含めて100名近い参加者が 野菜本来の育て方を学ぶことができました。「昨日、ジャガイモの植え付けを初めてしました。春からの野菜づくりが楽しみ」とのタイムリーな感想も頂きました。

【中尾 良枝】

【花のあふれるまちづくり推進議員連盟との意見交換会】

超党派の千葉市議会議員有志で構成される「花のあふれるまちづくり推進議員連盟(略称:花議連)」と「花びと会ちば」との意見交換会が、令和7年11月4日、千葉市議会第一委員会室にて開催されました。今年で11回目となります。



前半は、「花びと会ちば」と千葉市が共催で実施している「大賀ハスまつり」の今後について、私たちから現状と課題をお伝えしました。開催期間が9日間となってから観光性も高まる一方、運営経費の不足や高齢化による人的負担の増大など、継続に向けた課題も生じています。また、運営体制が分散していることで情報共有や安全管理に支障が出る場面もあり、実行委員会方式への移行を検討していることを説明しました。議員の皆様からは、持続可能な形での継続や効果的な協賛の集め方、PR強化について前向きなご意見をいただきました。

後半は「花育」について意見交換を行いました。現在66名が認定されているハス守さんの活用や、学校教育の中でオオガハスを郷土のアイデンティティとして位置づけることの重要性を共有しました。各公園や学校での栽培支援、指定管理者との連携、小さな拠点づくりなどについても具体的な議論が進みました。大賀ハスまつりの安定運営、PR方法の充実、花育の推進などを今後の課題として確認し、オオガハスを通じたまちづくりを引き続き連携して進めていくことを共有して意見交換会は幕を閉じました。ご出席いただいた花議連の皆様はじめ関係者の皆様、ありがとうございました。

【樫浦敏彰】

【会員研修 ～フラワースタンド作成～】

日時:2026年2月18日 10時～12時

場所:蘇我コミセン 創作室

昨年秋の講習会で以前から憧れていたハンギングバスケット(パンジーで制作)に挑戦しました。地面から高い位置へと飾り方を変えただけで、普段見慣れたパンジーの新しい魅力が発見できました。

玄関の窓格子に飾り、我が家の“第2の表札”となり、ご近所さんの目の保養にもなったようです。ただ、踏み台に登らなければ水やりが出来ず、老々の身になり少々……。そんな時に「フラワースタンド制作」の案内が届き、「工作の苦手な方でも」と書かれていたので早速申し込みました。ドライバー1本持っていざ講座に。



始めに材料(すべてカット済み)の確認をし、組立手順の説明を受けてスタート。印と印を合わせてネジを固定して組み立てました。はじめは、慎重にドライバーをゆっくり、ゆっくりと回しました。組み立てが終わってから、もう一度ペンキを塗って仕上げました。なんと、折りたたみ式のスタンドでした。外に出して使うのがもったいなくて、しばらく家の中で眺めていました。再度、ハンギングバスケットを作り、真新しいスタンドに飾りました。ワンランクアップとなりとても素敵です。

材料の下準備、作成指導をして頂いた高橋先生に感謝です。和気あいあいとして楽しい講習会でした。

【松本登美子】



「コンテナ&ハンギング・コンテスト 2025」

開催日:11月19日～11月24日

場 所:千葉公園 芝庭

10年前から、毎年花議連さんが参考出展するコンテナ制作のデザインから花材集め、そして植込みのお手伝いをしております。年々参加される議員さんも増え今年は

19名の方と作品づくりをしました。今や立派なガーデナー集団?となりました。一ヵ月後に来るXmasをイメージに大鉢の真ん中に大きなオベリスクをモミの木に見立て真っ赤なポインセチアやシクラメン、コルジリネそして雪を連想させるエレモフィラやシロタエギクなどで植栽しました。恒例の六区の名入りのプランターは、手際よく完成し、どの区も自画自賛、作業中の議員さんの笑顔がとても素敵で印象的でした。芝庭に飾った後は、市役所南側の日当たりの良い場所に飾り今も綺麗に咲いています。



【市役所前に置かれたコンテナ】

「ちはなちゃんのお誕生日会」

開催日:2025年11月23日

場所:千葉公園 芝庭



お誕生日
おめでとう！



ちはなちゃんのお誕生日会には、横浜からお祝いに駆けつけてくれたご家族がおられました。この日は、ちはなちゃんクイズ、松ぼっくり投げ、木の実を使ったリース作り、ハス折り紙、ドライフラワーで花束作り、ちはなちゃんとの写真撮影など色々なイベントがありました。

【木の実を使ったリース作り】

花びと会ちばに入会して2ヶ月、初めてのイベントに参加しました。事前に講習は受けましたが、不安で一杯でしたが何事も経験とリース作りの担当をいたしました。孫のような学生ボランティアと一緒に受付を手伝ってもらいました。木の実やボール、リボンなどを使った可愛いXmasリース作りです。定員をはるかに超えた人気の講座でした。小さなお子さんから大人の方まで、真剣にリース作りに挑戦され個性豊かな作品を作って満足されておりました。何ひとつ同じ物はないオンリーワンの作品が生まれました。



きれいに整備された芝生の上で、見知らぬ人との出会いと会話をしながら楽しい時間共有する事が出来ました。次回も微力ながら様々な行事に参加しお手伝いをさせて頂きたいと思っています。 【榎本恒子】

秋季善行表彰

一般社団法人日本善行会
より長年にわたる「花びと会
ちば」の活動が認められ
2025年11月29日
明治神宮参集殿において表
彰されました。
当日は、仙波会長、高橋副会
長が出席いたしました。



【市民会館花壇】

今年度も 年 2 回の植え替えをしました。一年中綺麗な花を咲かせたいのですが、端境期があり苦勞をしています。今回は、5 月に植えたマリーゴールドが夏の厳しい暑さを乗り越えてくれました。私たちも早朝に水かけに行きますガンバレ！ガンバレ！と言いながら汗だくになりながら作業をしています。12 月に入り、パンジーにバトンタッチ。いつもながらのカラフルな色合いが冬空に映えます。道行く人たちに少しでも安らいで頂ければと思いながら作業をしております。【畔田幾子】



【ミニ講演会】 講師：樫浦敏彰花びと会副会長

千葉開府 900 年を記念し「千葉の歴史、退屈させないミニセミナー」を開催します。花びと会ちば総会終了後に行うミニ講演会です。内容は、我がまち千葉の成り立ちを、わかりやすく楽しくご紹介するもので、特別史跡加曽利貝塚や千葉常胤と千葉氏の歴史、県庁所在地となってからの発展、蓮池界限の様子、駅の移転や海岸線の変化など、千葉のまちの移り変わりを幅広く取り上げます。身近なまちの歴史を知ること、新たな発見や楽しみが広がるはず。総会にあわせて、ぜひお気軽にご参加ください。



【今後の予定】

月 日	内 容	場 所
4 月16日(木)	令和8年度総会 13:30～ ミニ講演会(千葉開府900年記念)	千葉市民活動支援センター
5月中旬	会員研修	後日案内
6 月 13 日～24 日	大賀ハスパネル展示	千葉市生涯学習センター
6月20日～28日	大賀ハスマつり	千葉公園

個人会員＆賛助会員 募集！

花や緑に関心のある方一緒に活動しませんか。研修会、講座、講演会等を開催しています。

- ◆個人会員 年会費：1,000 円
- ◆団体会員 年会費：5,000 円
- ◆賛助会員 個人：年会費 □ 3,000 円
団体・企業年会費 □ 5,000 円



花びと会ちば事務局
「千葉市都市局公園緑地部緑政課」
Tel 043-245-5775 Fax043-245-5885
midoritohana@city.chiba.lg.jp